

国鉄当局、大量不当処分を強行！

日刊
動労千葉

80.6.1
全国版
NO. 54

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
電話二二五八一九・（公衆電話）二二七二〇七

「4・15」を口実とした、動労千葉への
選別的な不当処分を断固粉碎する！



国鉄当局は、五月三十一日、八〇春闘四月決戦ストライキに
対し戒告以上約七千名、訓告・嚴重注意も含めると約十万名
の大量不当処分を発表しました。動労千葉に対しては、「四
・一五」「本部」反動分子の暴力スト破り襲撃を口実として、
免職一名をはじめ、二百八十九名という大量かつ全くデタラメ
な選別的な不当処分を強行してきました。動労千葉は、この国
鉄当局・「本部」反動分子一体となった選別的な不当処分攻撃を
断じて許さず、怒りを込めて反撃の闘いに決起する決意です。
全組合員の皆さん。不当処分粉碎、五五・一〇ダイ改阻止、
国鉄三十五万人体制粉碎、三里塚・ジェット闘争貫徹にむけと
もに一丸となって闘い抜こうではありませんか。

不当処分攻撃のねらいは何か？

国鉄当局が、五月二十七日に国鉄三十五万人体
制合理化の当面する最大の柱である五五・一〇ダイ
改提案を行い、また、衆・参両院選挙中である
にもかかわらず、この大量不当処分発表を強行し
てきた次のような狙いを、われわれははっきりと
見極めなければなりません。

- ①全体として処分内容がいままでと比較して一
ランクエスカレートしている。
- ②この間、国労・動労中央の闘争放棄の足もと
を見透かし、五五・一〇提案、不当処分攻撃の同
時強行をもって、一層の屈服を強要しようとして
いる。
- ③国会解散―総選挙の結果、国鉄再建法案が廃
案となる事態に危機感をもった国鉄当局が労働組
合へのより高圧的な姿勢と三十五万人体制強行へ
向けて凶暴化してきている。
- ④イラン・南朝鮮をはじめとする世界的激動の
中で危機感を深める支配階級が国労・動労の闘争
放棄路線すら認めないという姿勢を露骨に打ち出
してきた。

闘う動労千葉への選別的な不当処分

危機感を深める国鉄当局は、八〇春闘への大量
不当処分強行と同時に、わが動労千葉に対して四
・一五津田沼支部における動労「本部」反動分子
の暴力的スト破り襲撃を口実とした解雇を含む選
別的な不当処分を強行してきました。

この「四・一五津田沼」を口実とした闘う動労
千葉への不当処分攻撃は、この間、『日刊』
などで明らかにしてきたように、動労「本部」反
動分子が国鉄当局に対し再三にわたって哀願して
きたものであります。

五五・一〇ダイ改、国鉄三十五万人体制さら
は、五五・三のジェット燃料貨車輸送期限切れを
前にして、闘う姿勢を一貫して堅持し、ますます
強固な組織体制を築きつつあるわが動労千葉に対
する階級的憎悪と弾圧の衝動にかられた政府・国
鉄当局は、「本部」反動分子を最大限利用し、口
実として選別的な不当処分攻撃を強行してきたので
す。

生産点からの徹底した闘いを！

全国の動労組合員の皆さん！
国労・動労中央の「選挙中」を口実とした反処
分闘争の放棄と五五・一〇合理化屈服路線をのり
こえ、不当処分攻撃に心の底からの怒りを燃やし
泥沼化をも恐れず、不当処分粉碎闘争に全支部・
全職場から総決起しようではありませんか。
そして、五五・一〇ダイ改―三十五万人体制攻
撃と真に対決する全国的な闘いへ発展させよう
ではありませんか。

動労千葉は、当面、不当処分粉碎第一波闘争と
して六月二日より三日間の減産闘争を全支部・全
職場で闘い抜きます。

動労千葉は、五月三十一日開催された第八回支
部代表者会議で全支部・全職場から徹底した非協
力闘争を中軸に次のような方向性をもって長期強
靱かつ徹底的に闘い抜くことを決定しました。

- (1)泥沼化を恐れず、全支部・全職場を基礎にあ
らゆる戦術を駆使して闘い抜く。
- (2)不当処分攻撃の本質と実態を社会的に明らか
にし、広く支援・連帯を求めて闘う。
- (3)「津田沼特別班」解体、佐倉支部強化、銚子
支部結成を中心とする組織強化の闘いと一体の闘
いとして闘う。